

# 山口県人口の動き

～ 令和3年山口県人口移動統計調査結果概要 ～

## I 山口県人口の推移

### 1 総人口

令和3年10月1日現在の山口県人口は、1,327,452人(県推計)であり、前年に比べ14,607人減少している。

過去の推移をみると、昭和33年の1,622,909人をピークに減少に転じた人口は、昭和45年の1,511,448人を境に小幅ではあるが年々増加していた。

しかし、昭和60年の1,601,627人を頂点に再び減少に転じ、令和3年に至るまで減少を続けている。

なお、令和3年(1月1日～12月31日)の人口増減をみると、自然増減は11,496人の減少、県外転入・転出に伴う社会増減は3,599人の減少となっている。

表1 総人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	対前年増減		年次	総人口	対前年増減		
		増減	率(%)			増減	率(%)	
昭和22年	1 479 244	103 748	7.5	60	1 601 627	1 281	0.1	
23	1 505 532	26 288	1.8	61	1 598 376	△ 3 251	△0.2	
24	1 551 600	46 068	3.1	62	1 593 302	△ 5 074	△0.3	
25	1 540 882	△ 10 718	△0.7	63	1 588 337	△ 4 965	△0.3	
26	1 552 680	11 798	0.8	平成元年	1 581 766	△ 6 571	△0.4	
27	1 573 244	20 564	1.3		2	1 572 616	△ 9 150	△0.6
28	1 588 111	14 867	0.9		3	1 567 343	△ 5 273	△0.3
29	1 599 036	10 925	0.7		4	1 563 840	△ 3 503	△0.2
30	1 609 839	10 803	0.7		5	1 560 342	△ 3 498	△0.2
31	1 617 219	7 380	0.5		6	1 558 661	△ 1 681	△0.1
32	1 619 072	1 853	0.1		7	1 555 543	△ 3 118	△0.2
33	1 622 909	3 837	0.2		8	1 550 853	△ 4 690	△0.3
34	1 617 721	△ 5 188	△0.3		9	1 546 381	△ 4 472	△0.3
35	1 602 207	△ 15 514	△1.0		10	1 541 553	△ 4 828	△0.3
36	1 593 529	△ 8 678	△0.5	11	1 535 815	△ 5 738	△0.4	
37	1 584 906	△ 8 623	△0.5	12	1 527 964	△ 7 851	△0.5	
38	1 569 018	△ 15 888	△1.0	13	1 522 056	△ 5 908	△0.4	
39	1 551 283	△ 17 735	△1.1	14	1 515 792	△ 6 264	△0.4	
40	1 543 573	△ 7 710	△0.5	15	1 508 874	△ 6 918	△0.5	
41	1 533 848	△ 9 725	△0.6	16	1 501 489	△ 7 385	△0.5	
42	1 529 430	△ 4 418	△0.3	17	1 492 606	△ 8 883	△0.6	
43	1 518 871	△ 10 559	△0.7	18	1 484 233	△ 8 373	△0.6	
44	1 512 739	△ 6 132	△0.4	19	1 475 434	△ 8 799	△0.6	
45	1 511 448	△ 1 291	△0.1	20	1 466 735	△ 8 699	△0.6	
46	1 513 571	2 123	0.1	21	1 459 570	△ 7 165	△0.5	
47	1 524 008	10 437	0.7	22	1 451 338	△ 8 232	△0.6	
48	1 531 767	7 759	0.5	23	1 443 706	△ 7 632	△0.5	
49	1 542 259	10 492	0.7	24	1 434 196	△ 9 510	△0.7	
50	1 555 218	12 959	0.8	25	1 424 540	△ 9 656	△0.7	
51	1 564 803	9 585	0.6	26	1 415 077	△ 9 463	△0.7	
52	1 572 493	7 690	0.5	27	1 404 729	△ 10 348	△0.7	
53	1 579 666	7 173	0.5	28	1 393 999	△ 10 730	△0.8	
54	1 582 671	3 005	0.2	29	1 381 786	△ 12 213	△0.9	
55	1 587 079	4 408	0.3	30	1 368 812	△ 12 974	△0.9	
56	1 592 284	5 205	0.3	令和元年	1 355 926	△ 12 886	△0.9	
57	1 598 136	5 852	0.4		2	1 342 059	△ 13 867	△1.0
58	1 599 747	1 611	0.1		3	1 327 452	△ 14 607	△1.1
59	1 600 346	599	0.0					

(注) 1 各年10月1日現在(ただし、昭和23年は8月1日現在)

2 昭和22年は、「臨時国勢調査」による現在人口、昭和23年は、「常住人口調査」による人口

3 昭和25、30、35、40、45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年は、総務省「国勢調査」による常住人口

4 昭和41～44年、46～49年、51～54年、56～59年、61～平成元年、3～6年、8～11年、13～16年、18～21年、23～26年、28～令和元年は国勢調査の確定値に基づき、補間法により補正した県推計人口

5 令和3年は、令和2年国勢調査の確定値に基づき推計した県推計人口

6 その他の年は、総務省「推計人口」



## 2 男女別人口

総人口を男女別にみると、男性が女性より66,718人少なく、人口性比(女性100人に対する男性の数)は、前年に比べ、0.1ポイント上昇し、90.4となっている。

表3 男女別人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	人口性比		年次	総人口	人口性比					
		男	女			男	女				
昭和	40	1 543 573	740 934	802 639	92.3	令和	12	1 527 964	722 683	805 281	89.7
	45	1 511 448	719 147	792 301	90.8		17	1 492 606	703 721	788 885	89.2
	50	1 555 218	743 833	811 385	91.7		22	1 451 338	684 176	767 162	89.2
	55	1 587 079	759 255	827 824	91.7		27	1 404 729	665 008	739 721	89.9
	60	1 601 627	763 803	837 824	91.2		2	1 342 059	636 736	705 323	90.3
平成	2	1 572 616	744 844	827 772	90.0	3	1 327 452	630 367	697 085	90.4	
	7	1 555 543	736 555	818 988	89.9						

(注) 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口。ただし、令和3年は県推計人口

## 3 市部・郡部別人口

総人口を市部・郡部別にみると、市部の構成比は96.1%を占めており、市町村合併が進んだことにより人口の大半が市部に集中している。

表4 市部・郡部別人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	市部		郡部		年次	総人口	市部		郡部			
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)			構成比(%)	構成比(%)				
										昭和	40	1 543 573	1 446 933
45	1 511 448	1 422 702	94.1	88 746	5.9	17	1 492 606	1 426 476	95.6	66 130	4.4		
50	1 555 218	1 468 945	94.5	86 273	5.5	22	1 451 338	1 389 324	95.7	62 014	4.3		
55	1 587 079	1 503 743	94.7	83 336	5.3	27	1 404 729	1 346 864	95.9	57 865	4.1		
60	1 601 627	1 520 631	94.9	80 996	5.1	2	1 342 059	1 289 433	96.1	52 626	3.9		
平成	2	1 572 616	1 496 069	95.1	76 547	4.9	3	1 327 452	1 275 960	96.1	51 492	3.9	
	7	1 555 543	1 483 213	95.4	72 330	4.6							

(注) 1 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口。ただし、令和3年は県推計人口  
2 市部・郡部は、令和3年10月1日現在の行政区画に組み替えて算出

#### 4 地域別人口

総人口を地域別にみると、全ての地域で減少傾向にある。

構成比は、前年に比べ、周南、山口・防府、宇部・小野田地域で上昇し、柳井、萩地域で低下している。岩国、下関、長門地域は同率となっている。

表5 地域別人口の推移

	年次	総人口	地域別							
			岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
実数 (人)	昭和40年	1 543 573	169 042	110 718	250 179	256 561	289 615	317 146	57 669	92 643
	45	1 511 448	165 078	101 891	263 384	257 356	269 518	315 603	53 247	85 371
	50	1 555 218	169 125	98 962	286 706	270 010	274 640	322 300	51 421	82 054
	55	1 587 079	171 208	95 824	295 662	285 058	281 839	325 478	50 892	81 118
	60	1 601 627	169 010	92 732	296 715	301 216	288 368	324 585	50 259	78 742
	平成2年	1 572 616	165 379	87 914	290 602	305 427	285 539	315 643	47 656	74 456
	7	1 555 543	163 306	83 221	286 644	311 975	283 912	310 717	45 565	70 203
	12	1 527 964	160 717	79 151	281 381	314 839	281 006	301 097	43 473	66 300
	17	1 492 606	156 143	75 228	276 154	316 115	275 055	290 693	41 127	62 091
	22	1 451 338	150 235	70 637	273 489	313 239	266 952	280 947	38 349	57 490
	27	1 404 729	143 042	65 745	267 340	313 364	258 259	268 517	35 439	53 023
	令和2年	1 342 059	135 159	59 853	257 708	307 945	246 143	255 051	32 519	47 681
	3	1 327 452	133 418	58 588	255 538	306 059	243 635	251 716	31 803	46 695
対前 回増減率 (%)	昭和40年	△ 3.7	△ 1.2	△ 8.9	4.7	△ 10.7	△ 3.6	0.0	△ 8.3	△ 10.3
	45	△ 2.1	△ 2.3	△ 8.0	5.3	0.3	△ 6.9	△ 0.5	△ 7.7	△ 7.8
	50	2.9	2.5	△ 2.9	8.9	4.9	1.9	2.1	△ 3.4	△ 3.9
	55	2.0	1.2	△ 3.2	3.1	5.6	2.6	1.0	△ 1.0	△ 1.1
	60	0.9	△ 1.3	△ 3.2	0.4	5.7	2.3	△ 0.3	△ 1.2	△ 2.9
	平成2年	△ 1.8	△ 2.1	△ 5.2	△ 2.1	1.4	△ 1.0	△ 2.8	△ 5.2	△ 5.4
	7	△ 1.1	△ 1.3	△ 5.3	△ 1.4	2.1	△ 0.6	△ 1.6	△ 4.4	△ 5.7
	12	△ 1.8	△ 1.6	△ 4.9	△ 1.8	0.9	△ 1.0	△ 3.1	△ 4.6	△ 5.6
	17	△ 2.3	△ 2.8	△ 5.0	△ 1.9	0.4	△ 2.1	△ 3.5	△ 5.4	△ 6.3
	22	△ 2.8	△ 3.8	△ 6.1	△ 1.0	△ 0.9	△ 2.9	△ 3.4	△ 6.8	△ 7.4
	27	△ 3.2	△ 4.8	△ 6.9	△ 2.2	0.0	△ 3.3	△ 4.4	△ 7.6	△ 7.8
	令和2年	△ 4.5	△ 5.5	△ 9.0	△ 3.6	△ 1.7	△ 4.7	△ 5.0	△ 8.2	△ 10.1
	3	△ 1.1	△ 1.3	△ 2.1	△ 0.8	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.3	△ 2.2	△ 2.1
構成比 (%)	昭和40年	100.0	11.0	7.2	16.2	16.6	18.8	20.5	3.7	6.0
	45	100.0	10.9	6.7	17.4	17.0	17.8	20.9	3.5	5.6
	50	100.0	10.9	6.4	18.4	17.4	17.7	20.7	3.3	5.3
	55	100.0	10.8	6.0	18.6	18.0	17.8	20.5	3.2	5.1
	60	100.0	10.6	5.8	18.5	18.8	18.0	20.3	3.1	4.9
	平成2年	100.0	10.5	5.6	18.5	19.4	18.2	20.1	3.0	4.7
	7	100.0	10.5	5.3	18.4	20.1	18.3	20.0	2.9	4.5
	12	100.0	10.5	5.2	18.4	20.6	18.4	19.7	2.8	4.3
	17	100.0	10.5	5.0	18.5	21.2	18.4	19.5	2.8	4.2
	22	100.0	10.4	4.9	18.8	21.6	18.4	19.4	2.6	4.0
	27	100.0	10.2	4.7	19.0	22.3	18.4	19.1	2.5	3.8
	令和2年	100.0	10.1	4.5	19.2	22.9	18.3	19.0	2.4	3.6
	3	100.0	10.1	4.4	19.3	23.1	18.4	19.0	2.4	3.5

(注)1 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口。ただし、令和3年は県推計人口

2 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

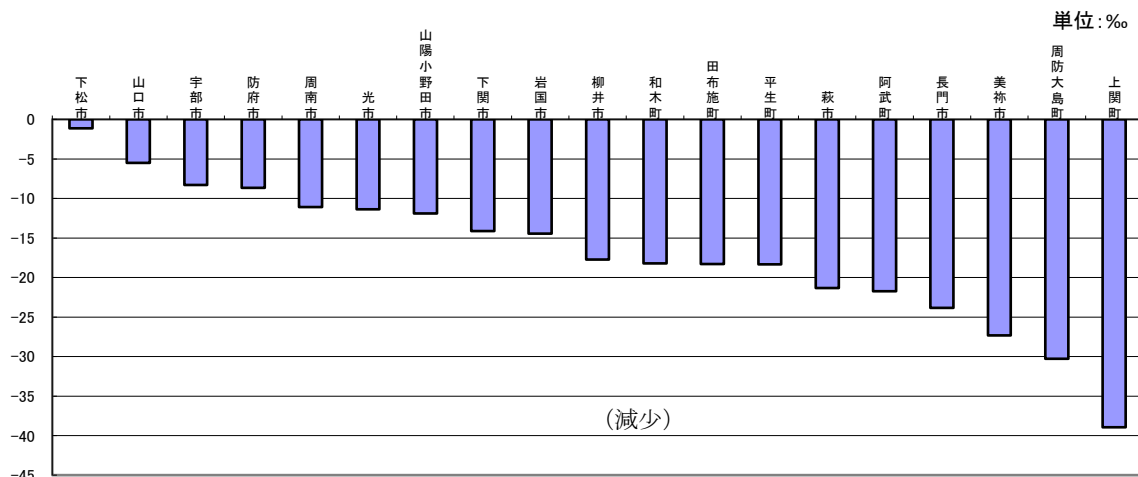
## II 令和3年の人口移動概要

### 1 市町別 総人口の増減状況

総人口の増減を市町別にみると、19市町のうち、前年に比べ人口が増加した市町はなく、すべての市町で人口が減少した。  
 総人口の減少率(人口千対)が最も高いのは上関町で△38.9%、減少数が最も大きいのは下関市で△3,557人となっている。

(統計表第1-4表参照)

図1 市町別 総人口の増減率(人口千対)



(注) 総人口の増減率=(総人口増減数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

## 2 自然動態

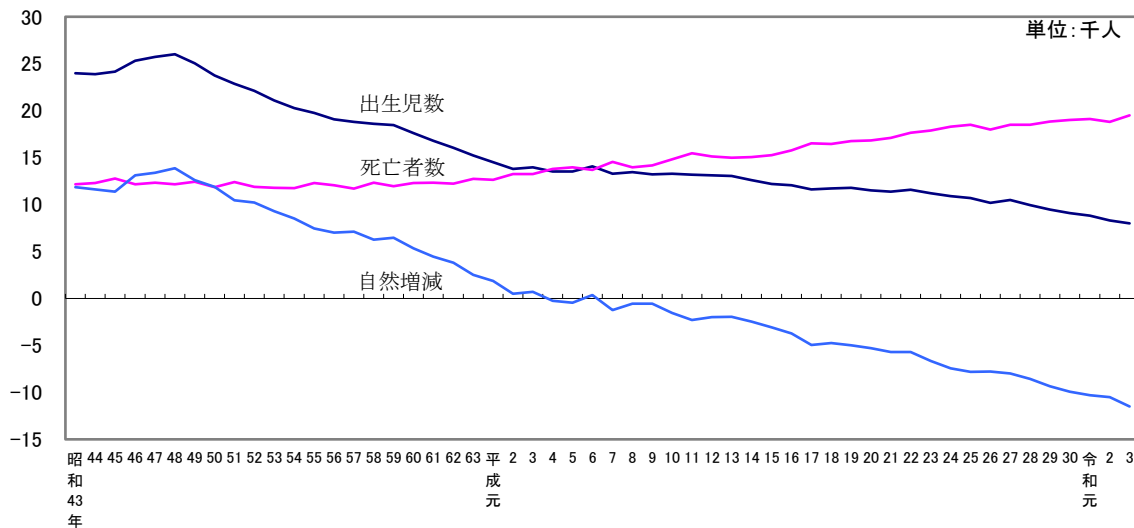
### (1) 年次別 出生児・死亡者数

令和3年は、出生児数は前年に比べ325人減の8,010人、死亡者数は693人増の19,506人で、差し引き11,496人の自然減となっている。

過去の推移をみると、自然増減は平成7年以降27年連続の減少となっている。また、出生児数が昭和49年以降減少傾向にある一方、死亡者数は増加傾向にあるため、長期的にみて減少幅は拡大傾向にある。

(統計表第1-2表参照)

図2 年次別 出生児・死亡者数の推移

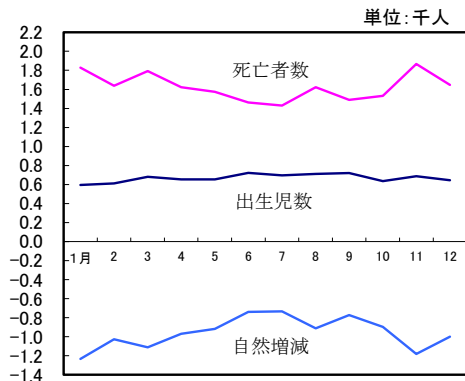


(2) 月別 出生児・死亡者数

出生児・死亡者数を月別にみると、出生児数は6月(722人)が最も多く、次いで9月(719人)、8月(710人)などとなっている。また、死亡者数は11月(1,867人)が最も多く、次いで1月(1,829人)、3月(1,792人)などとなっている。

(統計表第3表、第4表参照)

図3 月別出生児・死亡者数



(3) 普通出生率(人口千対)

普通出生率は、全県6.0‰、市部6.1‰、郡部4.4‰で、前年に比べ、全県及び市部で0.2ポイント低下し、郡部で0.4ポイント上昇している。

市町別にみると、普通出生率が最も高いのは下松市で8.7‰、次いで和木町(7.8‰)、防府市(7.2‰)となっている。

一方、普通出生率が最も低いのは上関町で1.8‰、次いで周防大島町(2.6‰)、美祢市(3.0‰)となっている。

(統計表第1-2表参照)

表6 普通出生率が高い市町

順位	市	町	普通出生率(‰)
1	下松市		8.7
2	和木町		7.8
3	防府市		7.2
4	宇部市		6.6
5	周南市		6.5
6	山口市		6.3
6	岩国市		6.3
8	下関市		5.8
9	平生町		5.5

表7 普通出生率が低い市町

順位	市	町	普通出生率(‰)
1	上関町		1.8
2	周防大島町		2.6
3	美祢市		3.0
3	阿武町		3.0
5	長門市		3.3
6	萩市		3.8
7	柳井市		4.0
8	田布施町		4.5
9	山陽小野田市		5.4
9	光市		5.4

(注) 普通出生率=(出生児数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

(4) 普通死亡率(人口千対)

普通死亡率は、全県14.7‰、市部14.4‰、郡部21.2‰で、前年に比べ全県で0.7ポイント、市部で0.6ポイント、郡部で1.3ポイント上昇している。

市町別にみると、普通死亡率が最も高いのは上関町で33.6‰、次いで周防大島町(30.4‰)、阿武町(24.7‰)となっている。

一方、普通死亡率が最も低いのは下松市11.3‰、次いで山口市(12.0‰)、和木町(12.6‰)となっている。

(統計表第1-2表参照)

表8 普通死亡率が高い市町

順位	市	町	普通死亡率(‰)
1	上関町		33.6
2	周防大島町		30.4
3	阿武町		24.7
4	萩市		20.5
5	美祢市		19.6
6	長門市		18.4
7	柳井市		18.3
8	平生町		17.7
9	岩国市		16.0
10	田布施町		15.8

表9 普通死亡率が低い市町

順位	市	町	普通死亡率(‰)
1	下松市		11.3
2	山口市		12.0
3	和木町		12.6
4	防府市		12.9
5	宇部市		13.6
6	周南市		13.9
7	光市		14.4
8	山陽小野田市		14.9
9	下関市		15.1

(注) 普通死亡率=(死亡者数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

(5) 自然増減率(人口千対)

自然増減率は、全県△8.7‰(△11,496人)、市部△8.3‰(△10,627人)、郡部△16.9‰(△869人)で、前年に比べ全県で0.9ポイント、市部で0.8ポイント、郡部で1.0ポイント減少幅が拡大している。

市町別にみると、自然増加となった市町はなく、一方、自然減少率が最も高いのは上関町で31.9‰、次いで周防大島町(27.8‰)、阿武町(21.7‰)となっている。

(統計表第1-2表参照)

表10 自然増加率が高い市町

順位	市	町	自然増加率(‰)
増加となった市町はなし			

表11 自然減少率が高い市町

順位	市	町	自然減少率(‰)
1	上関町		31.9
2	周防大島町		27.8
3	阿武町		21.7
4	萩市		16.7
5	美祢市		16.6
6	長門市		15.0
7	柳井市		14.3
8	平生町		12.2
9	田布施町		11.3
10	岩国市		9.7

(注) 自然増減率=(自然増減数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

### 3 社会動態

#### (1) 社会移動

##### ア 社会移動の内訳

社会移動者数(職権により記載・消除された者等を除く。)は、全県で68,152人(うち県外転入者数23,459人、県外転出者数27,058人、県内移動者数(転入ベース)17,635人)であり、移動率(人口千対)は51.3%となっている。

社会移動者数は、前年に比べ2,558人減少し、移動率は1.4ポイント低下している。

県外・県内別の割合をみると、県外移動者数は74.1%、県内移動者数は25.9%となっており、前年に比べ県外移動者の割合が低下している。

男女別の割合をみると、男性が56.1%、女性が43.9%となっている。これを県外・県内別にみると、男性が女性に比べ、県外移動では10.6ポイント、県内移動では1.6ポイント高くなっている。

(注) 移動率=(社会移動者数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

(統計表第1-3表参照)

図4 社会移動の県外・県内別内訳

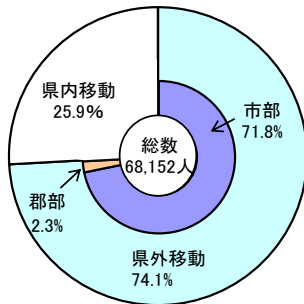
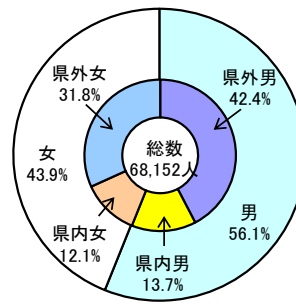


図5 社会移動の男女別内訳

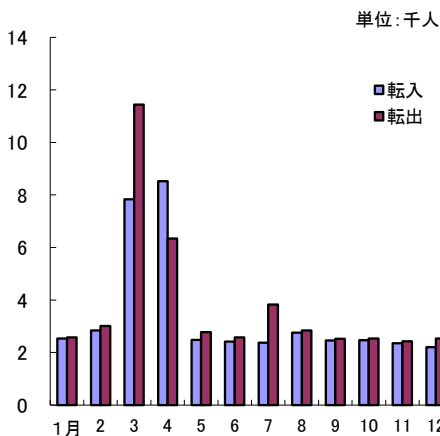


##### イ 月別 移動状況

社会移動者数を月別にみると、3月の19,276人(うち転入者数7,838人、転出者数11,438人)、4月の14,873人(うち転入者数8,528人、転出者数6,345人)が特に多く、3月は3,600人の転出超過、4月は2,183人の転入超過となっている。

(統計表第5表、第6表参照)

図6 月別 転入・転出者数



(注) 県内転入・転出及び職権による記載・消除を含む。

##### ウ 社会増減率(人口千対)

社会増減率は、全県△3.1‰(△4,152人)、市部△3.0‰(△3,850人)、郡部△5.9‰(△302人)で、前年に比べ全県及び市部で0.7ポイント減少幅が拡大し、郡部では0.9ポイント減少幅が縮小している。

市町別にみると、社会増加率が最も高いのは下松市で1.4‰、次いで山口市(0.1‰)となっている。

一方、社会減少率が最も高いのは和木町で13.3‰、次いで美祢市(10.8‰)、長門市(8.8‰)となっている。

(統計表第1-3表参照)

表12 社会増加率が高い市町

順位	市	町	社会増加率(‰)
1	下松市		1.4
2	山口市		0.1
3	-		-
4	-		-
5	-		-
6	-		-
7	-		-
8	-		-
9	-		-
10	-		-

表13 社会減少率が高い市町

順位	市	町	社会減少率(‰)
1	和木町		13.3
2	美祢市		10.8
3	長門市		8.8
4	上関町		7.1
5	田布施町		7.0
6	平生町		6.1
7	下関市		4.8
7	岩国市		4.8
9	萩市		4.6
10	周南市		3.7

(注) 1 県内転入・転出及び職権による記載・消除を含む。

2 社会増減率=(社会増減数÷令和3年10月1日現在推計人口)×1,000

## (2) 県外移動

### ア 年次別県外転入・転出状況

令和3年の県外転入者数は23,459人、県外転出者数は27,058人で、差し引き3,599人の転出超過となっており、前年に比べ転出超過が916人拡大している。

(統計表第1-3表参照)

### イ 月別県外転入・転出状況

県外転入・転出状況を月別にみると、3月の転出超過数は2,800人、4月の転入超過数は1,505人となっており、年度替わりの3月・4月は、その月に比べ転入・転出超過数が大きくなっている。

(統計表第5表、第6表参照)

図7 年次別 県外転入・転出者数の推移

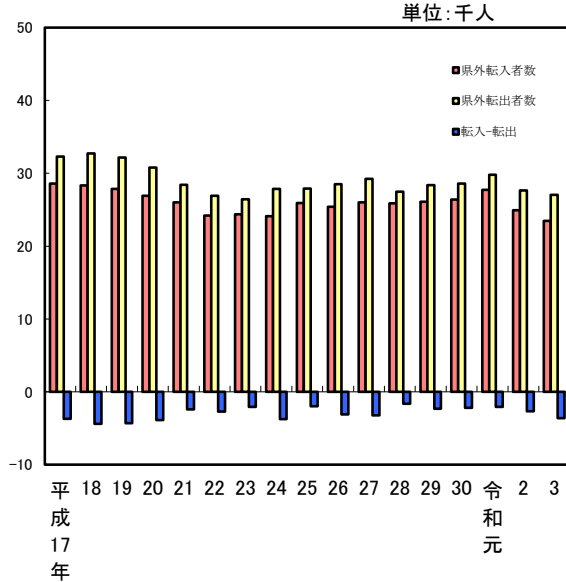
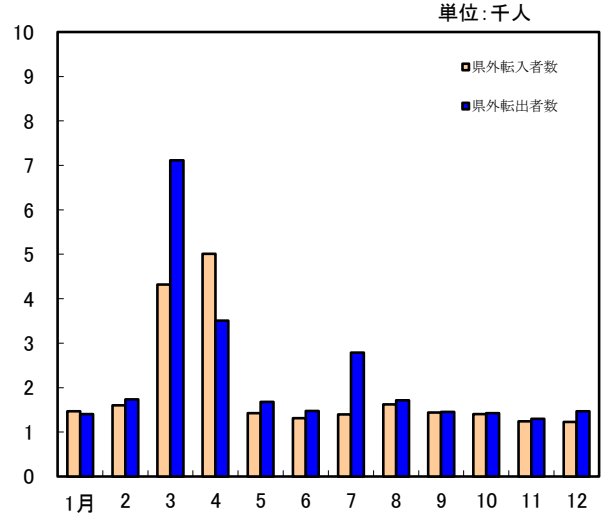


図8 月別 県外転入・転出者数



## Ⅲ 山口県年齢別推計人口

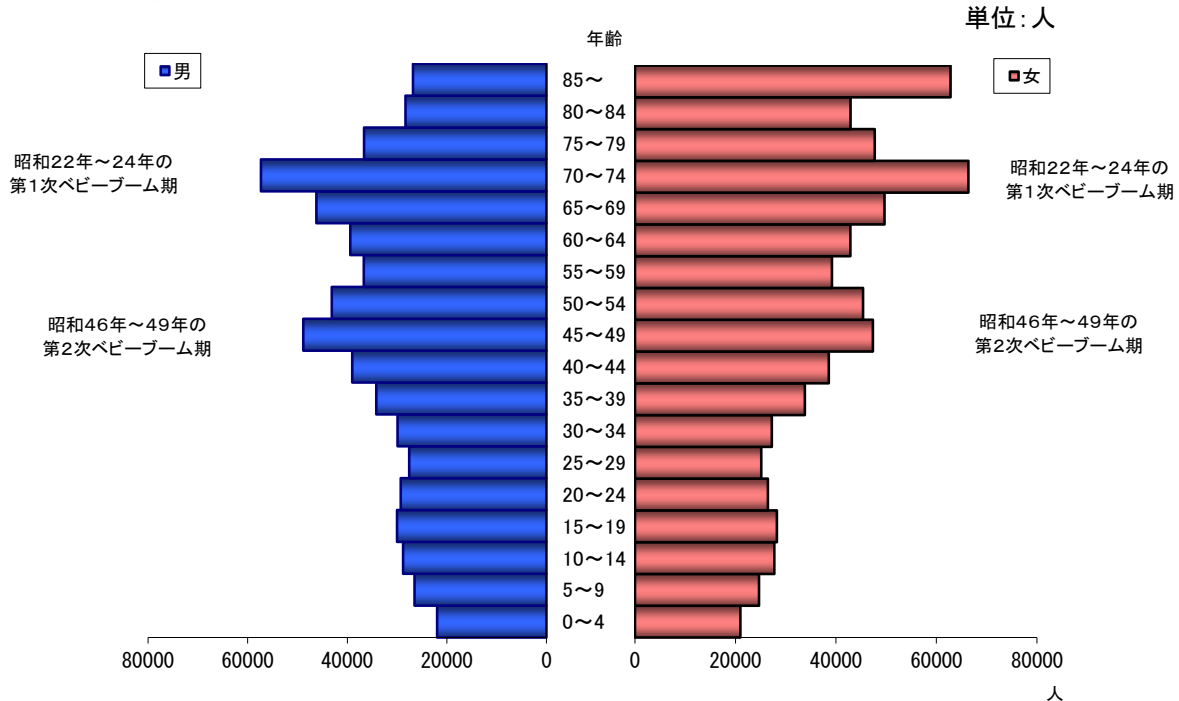
### 1 山口県の状況

#### (1) 年齢(5歳階級)別の構成

令和3年の人口ピラミッドをみると、男女ともに70～74歳と45～49歳をピークとした2つのふくらみで構成されている。これは、それぞれ第1次ベビーブーム期と第2次ベビーブーム期の影響によるものと考えられる。

(統計表第7表参照)

図9 人口ピラミッド





## (2) 年齢(3区分)別人口の推移

令和3年の山口県人口を年齢(3区分)別にみると、15歳未満人口は150,619人(構成割合11.3%)、15～64歳人口は712,138人(53.6%)、65歳以上人口は464,695人(35.0%)となっている。また、65歳以上人口のうち75歳以上の人口は245,148人(18.5%)となっており、15歳未満人口を94,529人上回っている。

前年に比べ、15歳未満人口は3,219人の減少で構成比は0.2ポイントの低下、15～64歳人口は11,450人の減少で0.3ポイントの低下、65歳以上人口は62人の増加で0.4ポイントの上昇となっている。

(統計表第7表、第9表参照)

図10 年齢(3区分)別人口の推移

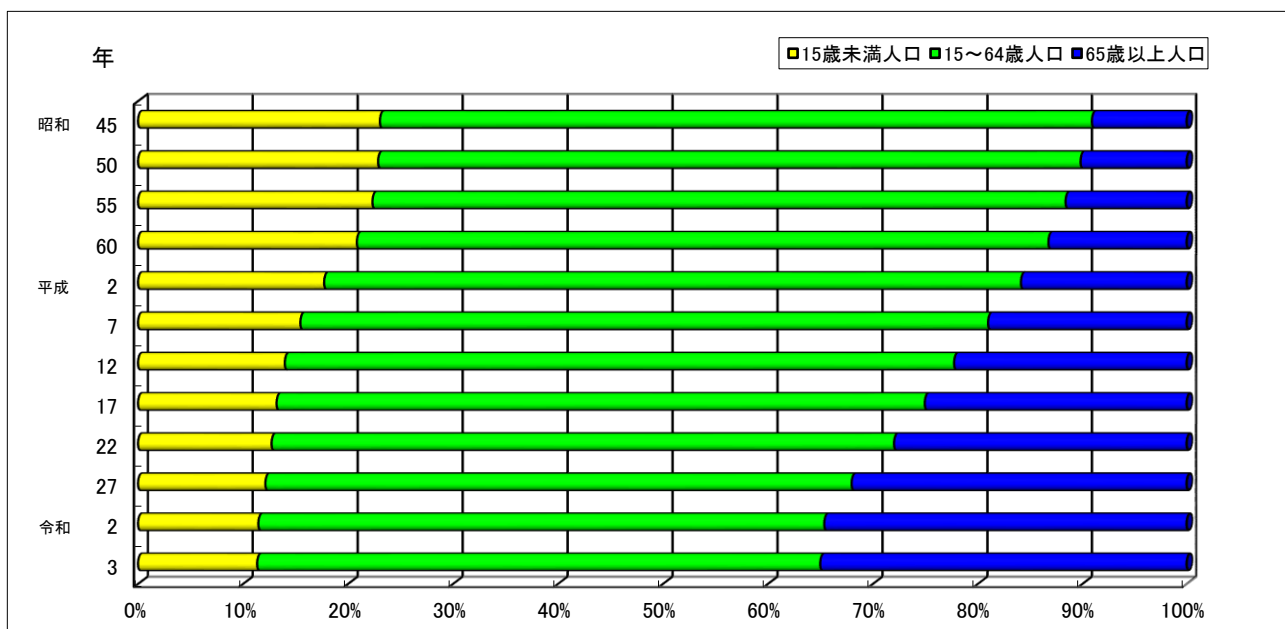


表14 年齢(3区分)別人口の推移

年次	総人口	実数(人)				構成割合(%)				
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち75歳以上	15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち75歳以上	
昭和	45	1 511 448	348 362	1 025 839	137 247	44 421	23.0	67.9	9.1	2.9
	50	1 555 218	355 657	1 041 291	158 042	54 723	22.9	67.0	10.2	3.5
	55	1 587 079	354 404	1 048 137	184 160	66 699	22.3	66.1	11.6	4.2
	60	1 601 627	333 923	1 055 436	212 237	83 318	20.8	65.9	13.3	5.2
平成	2	1 572 616	278 562	1 042 910	249 488	103 462	17.7	66.4	15.9	6.6
	7	1 555 543	240 469	1 018 839	295 702	122 231	15.5	65.5	19.0	7.9
	12	1 527 964	213 578	974 131	339 836	147 763	14.0	63.8	22.2	9.7
	17	1 492 606	196 729	920 531	373 346	181 725	13.2	61.8	25.0	12.2
	22	1 451 338	184 049	857 956	404 694	210 782	12.7	59.3	28.0	14.6
	27	1 404 729	170 406	784 584	449 739	226 791	12.1	55.9	32.0	16.1
	令和	2	1 342 059	153 838	723 588	464 633	245 347	11.5	53.9	34.6
3		1 327 452	150 619	712 138	464 695	245 148	11.3	53.6	35.0	18.5

(注) 1 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口。ただし、令和3年は県推計人口

2 平成27年及び令和2年の年齢(3区分)別人口は、各年国勢調査確定値(不詳補完値)

3 昭和45年、平成27年、令和2、3年以外の年は、総人口に年齢不詳を含む。構成割合は、分母(総人口)から年齢不詳を除いて算出

## 2 市町の状況

年齢(3区分)別人口を市町別にみると、15歳未満人口の構成割合が最も高いのは和木町の16.6%で、次いで下松市(13.9%)、防府市(12.8%)などとなっている。15～64歳人口の構成割合が最も高いのは山口市の58.1%で、次いで下松市(56.4%)、防府市(55.8%)などとなっている。65歳以上人口の構成割合が最も高いのは上関町の56.5%で、次いで周防大島町(55.3%)、阿武町(50.8%)となっている。

また、65歳以上人口のうち75歳以上の構成割合が最も高いのは上関町の33.4%で、次いで周防大島町(32.9%)、阿武町(27.6%)となっている。

(統計表第8表、第9表参照)

図11 年齢(3区分)、市町別人口の状況

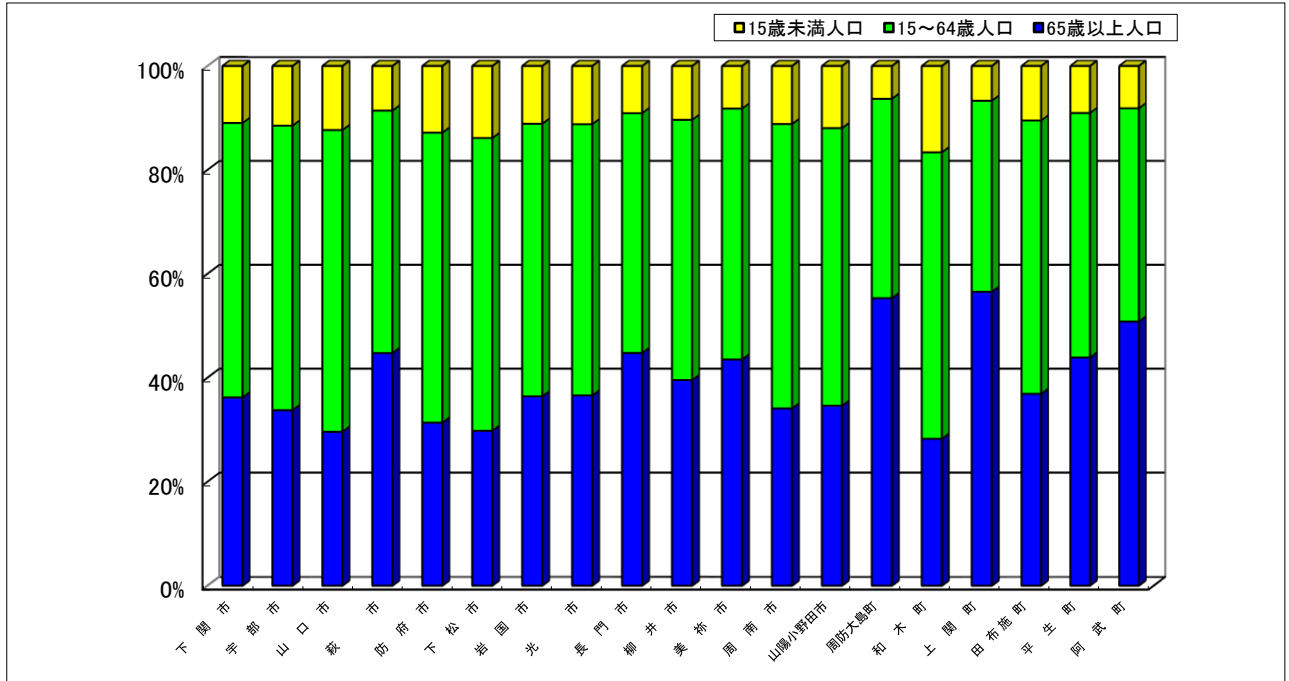


表15 年齢(3区分)、市町別人口の状況

市町	総人口	実数(人)				構成割合(%)			
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち 75歳以上	15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち 75歳以上
下関市	251 716	27 585	133 027	91 104	48 100	11.0	52.8	36.2	19.1
宇部市	161 400	18 527	88 402	54 471	28 103	11.5	54.8	33.7	17.4
山口市	193 121	23 786	112 166	57 169	29 570	12.3	58.1	29.6	15.3
萩市	43 705	3 752	20 399	19 554	10 313	8.6	46.7	44.7	23.6
防府市	112 938	14 493	63 047	35 398	18 424	12.8	55.8	31.3	16.3
下松市	55 819	7 733	31 460	16 626	8 701	13.9	56.4	29.8	15.6
岩国市	127 489	14 174	66 897	46 418	25 174	11.1	52.5	36.4	19.7
光長市	49 308	5 525	25 739	18 044	10 039	11.2	52.2	36.6	20.4
長門市	31 803	2 885	14 683	14 235	7 486	9.1	46.2	44.8	23.5
柳井市	30 277	3 136	15 166	11 975	6 458	10.4	50.1	39.6	21.3
美祢市	22 693	1 858	10 960	9 875	5 229	8.2	48.3	43.5	23.0
周南市	136 149	15 208	74 524	46 417	24 141	11.2	54.7	34.1	17.7
山陽小野田市	59 542	7 118	31 817	20 607	10 479	12.0	53.4	34.6	17.6
周防大島町	14 328	905	5 498	7 925	4 718	6.3	38.4	55.3	32.9
和木町	5 929	985	3 269	1 675	840	16.6	55.1	28.3	14.2
上関町	2 260	151	831	1 278	755	6.7	36.8	56.5	33.4
田布施町	14 262	1 495	7 507	5 260	2 774	10.5	52.6	36.9	19.5
平生町	11 723	1 060	5 518	5 145	3 020	9.0	47.1	43.9	25.8
阿武町	2 990	243	1 228	1 519	824	8.1	41.1	50.8	27.6

(注) 1 令和3年10月1日現在

2 構成割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。